

## トカラ列島口之島，中之島，諏訪之瀬島の昆虫（2015）

守山 泰司\*・金井 賢一\*\*

### Insects collected on Kuchino-shima, Nakano-shima and Swanose-jima (Tokara Islands) in 2015

Taiji MORIYAMA\* and Kenichi KANAI\*\*

キーワード：チョウ，口之島，中之島，諏訪之瀬島

#### はじめに

著者らはトカラ列島において，継続的に調査を継続しており，その成果は鹿児島県立博物館研究報告書に発表を続けている（過去の研究報告書参照）。2015年もキマダラセセリやヒメシルビアシジミなどに注目しながらチョウ類を中心に調査を行った。全般的に天候に恵まれず大きな成果は上がらなかったが，2004年の昆虫保護条例制定以降乏しくなっているこの地域の記録を蓄積し，今後比較検討する際に利用することを目的に報告する。

なお，今回の調査にあたり昆虫採取・捕獲の許可をくださった十島村に深く感謝する。

#### <口之島>

##### 1. 調査日程

8月28日：鹿児島発（23：00）フェリーとしま

29日：口之島着（5：15）

集落～横岳南麓～セラシマ～戸尻～前之浜  
～セラシマ～ウエウラ展望所～集落

30日：集落～セラシマ～前岳南麓～集落

中之島発（12：30）フェリーとしま

鹿児島着（19：00）

調査は民宿の車を借りて行った。

##### 2. 調査者

守山泰司：2015年度鹿児島県立博物館館外協力者，鹿児島昆虫同好会会員

##### 3. 調査結果：\*は今回注意していたが記録できな



図1. 口之島の調査地点

#### かった種

まだ8月というのに秋雨前線が九州南岸に停滞し，口之島滞在中は強くはないものの終始雨模様であった。また，数日前に付近を通過した台風15号の影響もあり，虫影は極端に薄かった。

なお，採集年は全て2015年なので省略した。

#### トンボ目 Odonata

##### トンボ科 Libellulidae

・ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

横岳南麓（1♂ 29.VIII）

#### バッタ目 Orthoptera

##### バッタ科 Acrididae

・台湾ハネナガイナゴ *Oxya chinensis*

集落（1♀ 29.VIII）

#### キリギリス科 Tettigoniidae

・ツユムシ *Phaneroptera falcata*

集落（1♂ 29.VIII）

・ニシキリギリス *Gampsocleis buergeri*

\* 鹿児島昆虫同好会

\*\* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

前年採集した牧内牧場付近で複数の鳴き声を聞き、生息を確認した。

#### カメムシ目 Hemiptera

##### セミ科 Cicadidae

- ・ニイニゼミ *Platypleura kaempferi*  
横岳南麓～セランマで鳴き声が聞かれたが、少なかった。
- ・ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*  
横岳南麓～セランマで鳴き声が聞かれたが、少なかった。
- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwa*  
横岳南麓 (1♀ 29. VIII), セランマ (1♀ 29. VIII), 戸尻 (1♀ 30. VIII)  
各地で鳴き声が聞かれた。

#### チョウ目 Lepidoptera

##### アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*  
セランマ (2♀ 30. VIII)  
ハマセンダンに訪花しているものを採集したが、ほかでは見ていない。少ない。
- ・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*  
横岳南麓～前岳南麓には野生化したミカン類が、道路沿いに少なからずあり、その付近で少数が見られた。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*  
横岳南麓 (2♂, 2齢幼虫 1ex., 3齢幼虫 1ex. カラスザンショウ 29. VIII), セランマ (2♂ 30. VIII)  
集落内の1本のクサギの花には多数集まっていたが、そのほかでは少なかった。
- ・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*  
横岳南麓 (2齢幼虫 1ex. カラスザンショウ 29. VIII)  
成虫は見ていない。

##### シロチョウ科 Pieridae

- \* ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*  
集落内のギョボクを入念に探索したが、発生の痕跡も見つからなかった。

##### シジミチョウ科 Lycaenidae

- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*  
ウエウラ展望所 (1♂ 29. VIII), 横岳南麓 (4♂ 1♀ 29. VIII), 前岳南麓 (1♀ 30. VIII), セランマ (2♂ 1♀ 30. VIII)  
各所で見られたが、多くはなかった。
- ・アマミウラナシジミ *Nacaduba kurava*

セランマ (1♀ 29. VIII) (2♀ 30. VIII)

ほかでは見ていない。少ない。

##### \* ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

ヤハズソウ、ハイメドハギの群落を丹念に探索したが、記録することはできなかった。以前採集したヤハズソウの群落はヤブ化し縮小しているところが多かった。

##### \* クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

成虫の姿は見かけなかったが、集落内などに植栽されたソテツには、今年食害されたのであろう痕跡があった。

##### タテハチョウ科 Nymphalidae

- ・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*  
集落 (1♀ 29. VIII), セランマ (1ex. 目撃 30. VIII)  
ほかには見ていない。少ない。
- ・アカタテハ *Vanessa indica*  
集落 (1ex. 目撃 29. VIII), セランマ (1ex. 目撃 30. VIII)  
ほかには見ていない。少ない。
- ・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*  
横岳南麓 (1♀ 目撃 29. VIII), 前岳南麓 (1♀ 目撃 30. VIII)  
ほかには見ていない。少ない。

##### セセリチョウ科 Hesperidae

- ・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*  
前之浜 (1♂ 29. VIII)  
次種に混じって、フジウツギに訪花していたものを採集した。少ない。
- ・イチモンジセセリ *Parnara guttata*  
集落 (1♂ 29. VIII), 前之浜 (1♂ 1♀ 29. VIII)  
前之浜の休耕田の周囲にはススキが繁茂しており、本種は普通に見られたが、そのほかでは少なかった。
- \* キマダラセセリ *Potanthus flavus*  
本種の採集が今回調査の最大の目的で、注意していたがその姿を見ることはなかった。

#### ハチ目 Hymenoptera

##### ミツバチ科 Apidae

- ・スジボソフトハナバチ  
*Amegilla (Glossamegilla) florea*  
前之浜 (1♂ 29. VIII)

#### < 中之島5月 >

##### 1. 調査日程

5月29日：鹿児島発（23：00）フェリーとしま  
 30日：中之島着（6：45）  
 寄木～高野～七ツ山～寄木～サツダ～大川  
 ～ヤルセ～御岳中腹～サツダ～寄木  
 31日：寄木～七ツ山（守山）／御池（金井）～池  
 原～舟倉～サツダ  
 中之島発（12：00）フェリーとしま  
 鹿児島着（19：30）  
 調査は民宿の車を借りて行った。

## 2. 調査者

守山泰司：2015年度鹿児島県立博物館館外協力者，鹿  
 児島昆虫同好会会員  
 金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

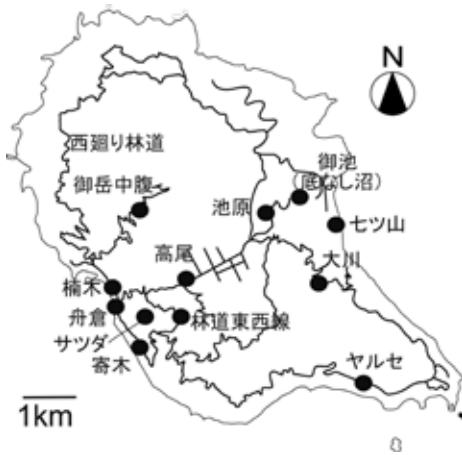


図2. 中之島の調査地点

## 3. 調査結果：\*は今回注意していたが記録できなかった種

30日は朝のうち小雨が降り，気温もあまり上がらず，飛んでいるチョウはほとんど見かけなかった。終日日差しはほとんどなかったが，午後になると気温がやや上がり，チョウも飛びはじめたが，多くはなかった。31日もはじめは雲が厚かったが，10：30ごろから日が差し始めると，虫の活動も活発になった。

なお金井が採集したものにはKを記入し，守山が採集したものは採集者を示していない。また採集年は全て2015年なので省略した。

### トンボ目 Odonata

#### イトトンボ科 Agrionidae

- ・ムスジイトトンボ *Cercion sexlineatum*  
 御池（1♂ K 31. V）

- ・リュウキュウベニイトトンボ  
*Ceriagrion latericum ryukyuanum*  
 サツダ（1♂ 31. V）

#### エゾトンボ科 Corduliidae

- ・ *Hemicordulia* sp.  
 サツダ（1♂ 31. V），御池（2♂ K 31. V）  
 前号に引き続き，ミナミトンボ *H. mindana* とリュウキュウトンボ *H. okinawensis* のどちらがふさわしいのか，結論が出ていないために，ここでは *Hemicordulia* 属の一種としておく。なお，遺伝子比較のための試料として，脚をエタノール固定して保管してある。しかるべき研究者に提供し，調査してもらう準備をしている。

#### トンボ科 Libellulidae

- ・ホソミシオカラトンボ *Orthetrum luzonicum*  
 サツダ（2♀ 30. V）
- ・オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania*  
 サツダ（4♂2♀，2♂1♀ K 31. V）

#### チョウ目 Lepidoptera

##### アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*  
 七ツ山（1♀ 31. V），寄木（1ex.K 31. V）  
 各所で見られたが，多くはなかった。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*  
 各所で見られたが，多くはなかった。
- ・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*  
 七ツ山（1♂ 30. V）（4♀ 31. V），サツダ（2♂1♀ 30. V）（3♀，1♂ K 31. V），御池（1♂ K 31. V）

樹高約3mのハマセンダンの根際にはえていたスキの葉裏に蛹の羽化殻があり，羽化直後のオスが静止していた（図3，4）。各所で普通に見られた。

##### シロチョウ科 Pieridae

- ・ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*  
 七ツ山（2齢幼虫2exs. 30. V），  
 ヤルセ（1♂，2齢幼虫1ex.，3齢幼虫3exs. 30. V）  
 天候のせいかわ，成虫はほとんど見かけなかった。七ツ山の幼虫はギョボクの展開したばかりの新しい葉上にいた。ヤルセでは最も展開した葉でも3cmほどで，幼虫は落葉しなかった前年の古い葉上にいた（図5）。
- ・ナミエシロチョウ *Appias paulina*  
 麓（1♂目撃 31. V）



図3. 羽化したばかりの中之島産カラスアゲハ



図4. カラスアゲハの羽化した位置  
ハマセンダン（上矢印）と羽化場所（下矢印）



図5. 古い葉に台座を作るツマベニチョウ幼虫



図6. アマミウラナミシジミの産卵



図7. 中之島産イシガケチョウ終齢幼虫



図8. リュウキュウアサギマダラ2齢幼虫



図9. ツマキカノコの交尾



図10. タイモを食べるイッポンセスジズメ幼虫

ほかには見ていない。食餌植物ツゲモドキは悪石島が北限で、迷蝶と思われる。

・モンシロチョウ *Pieris rapae*

サツダ (1♂1♀ 30. V), 御池 (1ex.K 31. V)

ダイコンが収穫されずに放置されていた畑のまわりで普通に見られたが、ほかでは少なかった。

**シジミチョウ科 Lycaenidae**

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

七ツ山 (1ex.K 30. V, 5♂1♀ 31. V), 高尾 (1ex.K 30. V), サツダ (5exs.K 30. V), 御池 (2exs.K 31. V)

各所で見られた。日差しがあると普通に見られた。

・アマミウラナシジミ *Nacaduba kurava*

七ツ山 (1♂1♀ 30. V), サツダ (1♂1♀, 1ex.K 30. V)

各所で見られたが、少なかった (図6)。

\*クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

寄木海岸のソテツ群落は萌芽しており、注意深く探索したが発生の痕跡も確認できなかった。

**タテハチョウ科 Nymphalidae**

・テングチョウ *Libythea lepita*

七ツ山 (1ex. 目撃 31. V), サツダ (1♀ 31. V)

採集した個体は新鮮であった。ほかには見ていない。

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

七ツ山 (1♀ K 30. V), 御池 (1K 31. V)

・アカタテハ *Vanessa indica*

寄木 (1ex.K 31. V)

成虫は少なかったが、路傍のカラムシには多数の幼虫が見られた。

・ルリタテハ *Kaniska canace*

大川 (1♂ 30. V), 麓 (1ex. 目撃 31. V)

ほかには見ていない。

・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*

七ツ山 (1♂ K 30. V, 1♂ 31. V), サツダ (1♂1♀, 1♂1♀ K 30. V) (2♂1♀, 1♀ K 31. V), 御岳分岐 (1♀ 30. V)

各所で見られたが、多くはなかった。御岳分岐で採集した♀より1卵だけ採卵できたが、その終齢幼虫の斑紋は屋久島以北でみられるパターンであった (図7: 2015年6月14日撮影)。

・クロコノマチョウ *Melanitis phedima*

七ツ山 (1ex. 目撃, 2♂ K 30. V), 御池 (1ex.K

31. V)

サツダでは薄暗い樹林内にオオイタビの果実が多数落下しているところがあり、その周囲では数頭の本種が見られた。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

七ツ山 (2♀ 31. V)

七ツ山では林道脇にツルモウリンカが少なくなく、2~3齢幼虫を10頭以上確認できた (図8)。

・アサギマダラ *Parantica sita*

ヤルセ (1♂ 目撃 30. V), 七ツ山 (1ex. 目撃 31. V)

ほかには見ていない。

**セセリチョウ科 HesperIIDae**

\*キマダラセセリ *Potanthus flavus*

本種第1化の採集が今回調査の最大の目的であったが、その姿を見ることはなかった。未発生だった可能性もある。

**ヒトリガ科 Arctiidae**

・ツマキカノコ *Amata flava*

高尾 (1♂1♀ K 30. V)

交尾中であった (図9)。

岸田 (2001) によれば、本種の分布は台湾、与那国島、中之島となっており、基準亜種台湾に対して与那国島は *A. f. aritai* とされている。中之島産の個体群については今後の検討とあり、口之島・諏訪之瀬島・悪石島での分布も含めて、今後調査すべき種である。

**カギバガ科 Drepanidae**

・スカシカギバ *Macrauzata maxima*

七ツ山 (1♀ K 30. V)

**スズメガ科 Sphingidae**

・イッポンセスジスズメ *Theretra silhetensis*

サツダ (3exs.K 31. V)

水田で栽培されていたタイモの葉にいる終齢幼虫を採集し (図10)、飼育後羽化させた。

**<中之島9月>**

**1. 調査日程**

9月4日: 鹿児島発 (23:00) フェリーとしま

5日: 中之島着 (6:20)

舟倉~七ツ山~池原~御池~七ツ山~高尾~寄木~サツダ~林道東西線~池原大川~舟倉

6日: 舟倉

中之島発 (13:00) フェリーとしま  
鹿児島着 (21:00)  
調査は民宿の車を借りて行った。

9月25日: 鹿児島発 (23:00) フェリーとしま  
26日: 中之島着 (7:10)  
舟倉～高尾～林道東西線～サツダ～舟倉～  
西廻り林道～舟倉～楠木～舟倉  
中之島発 (18:30) フェリーとしま  
27日: 鹿児島着 (3:00)  
調査はすべて徒歩で行った。

## 2. 調査者

守山泰司: 2015年度鹿児島県立博物館館外協力者, 鹿  
児島昆虫同好会会員

## 3. 調査結果: \*は今回注意していたが記録できなかった種

5日は時折日が射すものの雲が厚く, あまり良い調査の条件とは言えなかった。台風15号の通過から10日, チョウ影も薄かった。6日は明け方から風雨が強く, 雨の上がった正午ごろからの30分ほど, 民宿の周囲を探索できただけであった。

フィリピン東方の台風21号のため, フェリーとしまは宝島折り返し便となり, 26日は往復船中泊の日帰り調査となった。やや風は強いものの概ね晴れており, 調査には支障はないと思われたが, 台風15号の影響がまだ残っているのか, 過去の調査時と比べヤマトシジミ, タイワンツバメシジミを除いてはチョウの個体数が少ないようであった。

### トンボ目 Odonata

#### イトトンボ科 Agrionidae

- ・アジアイトトンボ *Ischnura asiatica*

西廻り林道 (1♀ 26. IX)

- ・リュウキュウベニイトトンボ

*Ceriagrion latericum ryukyuanum*

御池 (1♂1♀ 5. IX), 高尾 (1♀ 26. IX)

- ・ムスジイトトンボ *Cercion sexlineatum*

七ツ山 (1♂ 5. IX)

#### ヤンマ科 Aeschnidae

- ・ギンヤンマ *Anax parthenope julius*

舟倉 (1♂ 5. IX)

#### トンボ科 Libellulidae

- ・ハネビロトンボ *Tramea virginia*

林道東西線深山橋 (1♂ 26. IX)

- ・ハラボソトンボ *Orthetrum sabina sabina*

高尾 (1♂ 26. IX)

- ・ホソミシオカラトンボ *Orthetrum luzonicum*

池原 (2♀ 5. IX), サツダ (3♂1♂ 5. IX), 高尾 (1♂ 5. IX, 1♂1♀ 26. IX), 七ツ山 (2♀ 5. IX), 舟倉 (2♂ 5. IX), 林道東西線深山橋 (1♂ 26. IX)

- ・オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania*

七ツ山 (1♀ 5. IX), 林道東西線深山橋 (2♂1♀ 26. IX)

### カマキリ目 Mantodea

#### カマキリ科 Mantidae

- ・コカマキリ *Statilia maculata*

舟倉 (1♀ 5. IX)

### バッタ目 Orthoptera

#### キリギリス科 Tettigoniidae

- ・ヒメクダマキモドキ *Phaulula gracilis*

舟倉 (1♀ 5. IX)

#### オンブバッタ科 Pyrgomorphidae

- ・オンブバッタ *Atractomorpha lata*

池原 (1♀ 5. IX)

#### マツムシ科 Eneopteridae

- ・アカマツムシモドキ *Aphonoides rufescens*

七ツ山 (1♀ 5. IX)

#### バッタ科 Acrididae

- ・マダラバッタ *Aiolopus tamulus*

舟倉 (1♀ 5. IX)

### カメムシ目 Hemiptera

#### セミ科 Cicadidae

- ・ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*

池原 (1♂ 5. IX)

七ツ山でも鳴き声を聞いているが, 少なかった。

- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwae*

七ツ山 (1♂1♀ 5. IX)

各地で鳴き声が聞かれ, 少なくなかった。

### チョウ目 Lepidoptera

#### アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

七ツ山 (1♂ 5. IX)

各地で見られたが, 少なかった。

- ・アゲハ *Papilio xuthus*

舟倉～高尾 (2exs. 目撃 26. IX)

ほかには見ていない。少ない。

・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

各地で見られたが、少なかった。

・モンキアゲハ *Papilio helenus*

舟倉～高尾 (2齢幼虫1ex., 終齢幼虫1ex. 26. IX),  
御池 (1♂ 5. IX)

各地で見られたが、少なかった。

・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

舟倉～高尾 (4齢幼虫2exs., 終齢幼虫1ex. 26. IX)  
少ない。

#### シロチョウ科 Pieridae

・モンシロチョウ *Pieris rapae*

高尾 (1ex. 目撃 26. IX)

ほかには見ていない。

・キタキチョウ *Eurema mandarina*

舟倉～高尾 (1♀26. IX), 高尾 (1♀26. IX)

ほかには見ていない。ともに汚損個体で同定不可であったため、採卵飼育したF1より本種であることを確認した。

#### シジミチョウ科 Lycaenidae

・ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

七ッ山 (1♂2♀ 5. IX),

他所では見ていない。少ない。

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

七ッ山 (2♂1♀ 5. IX), 池原 (1♂ 5. IX), 御池 (3♂ 5. IX), 高尾 (1♂ 5. IX) (2♂3♀ 26. IX), 舟倉 (2♂ 6. IX), 西廻り林道 (3♂2♀ 26. IX)

各所で普通に見られた。

・タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

高尾 (8♂2♀ 26. IX)

高尾のシバハギ群落に大きな変化は見られず、安定して発生しているようであった。

・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

高尾 (1♀ 26. IX)

少ない。

・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

西廻り林道 (2♀ 26. IX)

局所的には普通に見られた。

・オジロシジミ *Euchrysops anejus*

舟倉 (1♀ 6. IX)

ほかには見ていない。夏～秋期には訪れる毎に発

生していた、寄木海岸のノアズキ群落は台風15号により壊滅状態であった。

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

高尾 (1♀ 26. IX), 池原 (1♂ 5. IX)

各所で見られたが、それほど多くはなかった。

\*ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

中之島未記録種。高尾ではハイメドハギが2013年と比べ増えているような印象を受けた。丹念に探索したが見つからなかった。

#### タテハチョウ科 Nymphalidae

・テングチョウ *Libythea lepita*

七ッ山 (4♂1♀ 5. IX),

他所では見ていない。萌芽したりユウキウエノキがあり、幼虫を探したが見つからなかった。

・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

林道東西線 (1♀ 26. IX)

各所で見られたが、少なかった。

・アカタテハ *Vanessa indica*

舟倉～高尾 (1♀ 26. IX)

各所で普通に見られた。

・ルリタテハ *Kaniska canace*

七ッ山 (1♂ 5. IX), 林道東西線 (1♂ 5. IX)

ほかには見ていない。

・ツマグロヒヨウモン *Argyreus hyperbius*

高尾 (1♀ 26. IX), 御池 (1♀ 5. IX)

各所で見られたが、少なかった。

・リュウキウアサギマダラ *Ideopsis similis*

七ッ山 (3♀ 5. IX), 西廻り林道 (1♂ 26. IX)

各所で見られた。七ッ山, 西回り林道にはツルモウリンカが少なくなく、産卵中の♀も確認している。卵～若齢幼虫も少なからず見られた。

\*タテハモドキ *Junonia almana*

2007年の平島を最後にトカラ各島の調査で確認できていない。今回も注意していたが、見かけなかった。

#### セセリチョウ科 Hesperidae

・キマダラセセリ *Potanthus flavus*

七ッ山 (1ex. 目撃 5. IX)

2013年に占有行動を観察したのと同じ場所で、9:00頃汚損した個体を1頭みただけであった。

・クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

七ッ山 (1ex. 目撃 5. IX), 御池 (1ex. 目撃 5. IX),  
サツダ (2♂ 26. IX)



図11. 諏訪之瀬島の調査地点

局所的で、個体数も少なかった。

- ・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*  
舟倉 (1♂ 6. IX), 高尾 (1♂1♀ 26. IX), 西廻り林道 (1♂ 26. IX)  
各所で見られたが、少なかった。
- ・イチモンジセセリ *Parnara guttata*  
舟倉～高尾 (1♂ 26. IX), 池原 (2♂ 5. IX), サツダ (1♂ 5. IX)  
各所で見られたが、少なかった。

### < 諏訪之瀬島 >

#### 1. 調査日程

- 10月2日：鹿児島発 (23:00) フェリーとしま  
3日：諏訪之瀬島着 (7:55)  
集落～場外飛行場～集落  
4日：集落  
諏訪之瀬島発 (11:00) フェリーとしま  
鹿児島着 (20:00)  
調査はすべて徒歩で行った。

#### 2. 調査者

守山泰司：2015年度鹿児島県立博物館館外協力者，鹿児島昆虫同好会会員

#### 3. 調査結果：\*は今回注意していたが記録できなかった種

天候には恵まれ調査日和ではあったが、全体的にチョウ影は薄かった。8月の台風15号の影響かもしれない。

#### トンボ目 Odonata

#### ヤンマ科 Aeschnidae

- ・ギンヤンマ *Anax parthenope julius*  
集落 (1♂ 3. X)

#### トンボ科 Libellulidae

- ・ウスバキトンボ *Pantala flavescens*  
空港 (1♂ 3. X)
- ・スナアカネ *Sympetrum fonscolombei*  
空港 (5♂4♀ 3. X)

#### バッタ目 Orthoptera

#### カネタタキ科 Mogoplistidae

- ・イソカネタタキ *Ornebius bimaculatus*  
集落 (1♀ 3. X)

#### バッタ科 Acrididae

- ・ショウリヨウバッタ *Acrida cinerea*  
空港 (1♂ 3. X)
- ・マダラバッタ *Aiolopus tamulus*  
集落 (1♂1♀ 3. X)

#### カメムシ目 Hemiptera

#### セミ科 Cicadidae

- ・クロイワツクツク *Meimuna kuroiwaie*  
集落内で鳴き声を聞いたが、少なかった。

#### コウチュウ目 Coleoptera

#### ハンミョウ科 Cicindelidae

- ・コハンミョウ *Cicindela specularis*  
空港 (2♀ 3. X)

#### コガネムシ科 Scarabaeidae

- ・アオドウガネ *Anomala albopilosa*  
集落 (1ex. 3. X)

#### クチキムシ科 Alleculidae

- ・トカラチャイロクチキムシ *Cistelina tokaraensis*  
集落 (1ex. 3. X)

#### カミキリムシ科 Cerambycidae

- ・ウスアヤカミキリ *Bumetopia oscitans*  
集落 (1♀ 3. X)

#### チョウ目 Lepidoptera

#### アゲハチョウ科 Papilionidae

- ・アゲハ *Papilio xuthus*  
集落 (1卵, 2齢幼虫2exs. カラスザンショウ 3. X)  
成虫は見えていない。
- ・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*  
集落 (1♂目撃 3. X)  
ほかには見えていない。
- ・モンキアゲハ *Papilio helenus*



集落 (1ex. 目撃, 4齢幼虫 2exs. カラスザンショウ 3. X)

ほかには見ていない。

- ・カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

集落 (1♂, 2齢幼虫 1ex. カラスザンショウ 3. X)

ほかには見ていない。

#### シロチョウ科 Pieridae

- ・キチョウ *Eurema hecabe*

集落 (1♀ 3. X)

諏訪之瀬島初記録。迷蝶か?ほかには見ていない。

- ・モンキチョウ *Colias erate*

集落 (2♀ 4. X)

ほかには見ていない。

- ・ウスキシロチョウ *Catopsilia pomona*

集落 (1♀, ムモン型 3. X)

迷蝶。ほかには見ていない。

#### シジミチョウ科 Lycaenidae

- ・ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

集落 (1♂1♀ 3. X)

少ない。食餌植物マテバシイの記録はあるが、確認できなかった。

- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

集落 (5♂2♀ 3. X) (2♂1♀ 4. X)

集落内では普通に見られた。

- ・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

集落 (1♀ 4. X)

集落内では普通に見られた。

- ・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

小中学校に植栽されたソテツには食害痕があり、成虫はその周辺で見られたが、多くなかった。

- \* ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

トカラでは口之島, 平島, 小宝島, 宝島に記録があり, 平島, 宝島では定着しているものと思われる。集落内, 滑走路 (場外飛行場) 周囲のヤハズソウ群落は, 2012年の調査時より縮小していた。丹念に探索したが, 今回も発見できなかった。

- \* タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

トカラでは, 中之島, 平島に記録がある。2012年に確認していた滑走路 (場外飛行場) 周囲のシバハギの群落は健全で, 花も多かった。前週に調査した中之島はオスの最盛期であったことから, 時期的にも問題ないと思われたが, 今回も発見できなかった。現時点での生息の可能性は限りなくゼロに近い

ものと思われる。

#### タテハチョウ科 Nymphalidae

- ・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

集落 (1♀ 3. X)

集落内では普通に見られた。

- ・アカタテハ *Vanessa indica*

集落 (1♀ 3. X)

少ない。カラムシに幼虫が造巣していたが, 多くはなかった。

- ・ルリタテハ *Kaniska canace*

集落 (1♂, 2卵, 終齢幼虫 7exs. ハマサルトリイバラ 3. X)

このほかにもう1頭目撃したのみで, 成虫は少なかった。ハマサルトリイバラは多く, 卵, 若齢~終齢幼虫まで多数観察できた。採集した7頭の終齢幼虫のうち, 寄生されていたのは1頭のみであった。

- ・リュウキュウムラサキ *Hypolimnias bolina*

集落 (2♂ 4. X)

迷蝶。ほかには見ていない。

- ・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

集落内, 場外飛行場ともに見られたが, 少なかった。

- ・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

集落 (2exs. 目撃 3. X)

集落内で見られたが, 少なかった。

#### セセリチョウ科 HesperIIDae

- ・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

集落 (2♂ 3. X)

集落内で普通に見られた。

- ・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

集落 (2♂ 3. X)

集落内で普通に見られた。

- \* クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

トカラでは口之島, 中之島に記録がある。集落内に食草のゲットウは多く, 丹念に探索したが幼生期も含め発見できなかった。

#### まとめ

ヒメシルビアシジミ, タイワンツバメシジミ, キマダラセセリなどの新分布地域の発見を主な目的として調査を継続しているが, 2015年は天候にも恵まれず, 大きな成果が残せなかった。

今後も以下のようなテーマを持って, トカラ列島

のチョウ相について、解明を進めていきたい。

- 1) キマダラセセリは過去に記録のあった口之島・中之島において再発見できた(守山・金井, 2014; 守山・金井, 2015)。諏訪之瀬島, 悪石島には今のところ記録が無いが, 本当に分布しないのか確認する。試料が十分な数集まれば, 県本土や種子島・屋久島の個体群と, トカラの個体群との間に差異が見られるのかどうか, 検討したい。
- 2) ヒメシルビアシジミは現在平島が分布の北限と考えられるが, 口之島では2010年に確認されたものが2011年には見られなくなった(金井・守山, 2013)。一時的な分布の拡大が継続するかしらないか, あるいは定着域からいなくなる時期にはどのようなことが起きるのか, その最前線ではどのようなことが起きるのかを明らかにしたい。
- 3) トカラ列島においてタイワンツバメシジミが安定的に発生するのは, 現在中之島のみである。平島で1♀のみ記録があるが(中峯, 2008), これは迷チョウなのか, あるいは分散して新たな発生地を拓げるのか, 注目したい。

#### 引用・参考文献

- 福田晴夫・守山泰司(2013)鹿児島県産チョウ類の分布ノート. SATSUMA, 150: 3-40.
- 平田 浩(1995)陸上の生物(植物). 十島村誌: 56-146.
- 金井賢一・守山泰司(2013) 2011年4月と10月の口之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告, 32: 11-16.
- 岸田泰則(2011)ツマキカノコ. 日本産蛾類標準図鑑, 2: 167. 学研教育出版, 東京.
- 守山泰司・金井賢一(2014) 2013年8月および9月のトカラ列島中之島のチョウ類-キマダラセセリの再発見-. 鹿児島県立博物館研究報告, 33: 33-37.
- 守山泰司・金井賢一(2015)トカラ列島口之島・中之島・平島の昆虫(2014年). 鹿児島県立博物館研究報告, 34: 79-86.
- 中峯浩司(2008)トカラ列島平島及び中之島の昆虫(2007年秋). 鹿児島県立博物館研究報告, 27: 83-92.